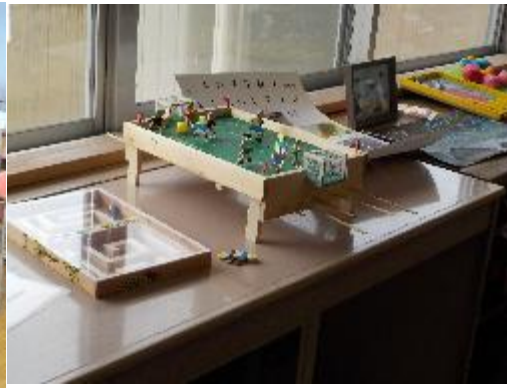




ほ う な い

第5号

村上市立保内小学校
強い力 豊かな心

〒959-3107

村上市下鍛冶屋 264-2

TEL 0254-62-2302

FAX 0254-62-5553

school@honai-e.murakami.ed.jp

少しつらい挑戦をする

校長 見 原 仁

35日間の夏休みが終わりました。事故や大きなけがの報告がなく本当にありがたく思っています。ご家族の皆様のご指導のおかげです。

2学期始業式。少し暑さを感じる体育館でしたが、子どもたちはとても静かに話を聞いていました。充実した夏休みを過ごし、やる気をもって学校へ登校してきたのだな、と感じました。その後、教室では、上記の写真のようにどの学級も夏休みに頑張った学習を提出していました。ご家族の皆様のご協力に感謝申し上げます。

始業式では、子どもたちに以下の話をしました。

マラソン記録会は、今年久しぶりに行われます。目的は、簡単に言うと「長い距離を自分のペースで走りきる」です。新たなことへの挑戦ですね。マラソン記録会というと、つらい、苦しい、というイメージがあるのではないですか？

私は、マラソンをつらい、苦しい、から自分のペースで少し楽に走ることを目指してほしい、と思っています。自分のペースで少し楽に走るには、練習が大事になります。自分のできる限り、精一杯の練習をしてほしいです。その時に友達と声を掛け合いながら走る、と良いでしょう。練習の時でも頑張ろう、と声を掛け、友達とつながることも必要です。自分のできる限り、精一杯の練習をして、マラソンを少しは楽しみましょう。

4月から、右の図のように「挑戦 つながる 学び合う」の3つを頑張ることを子どもたちに伝えてきました。

マラソン記録会は、新たな「挑戦」です。挑戦をするには、やはり準備が必要です。そのために、練習が大切になります。そして、練習の仕方にも工夫が必要です。自分一人ですべてでもいいですが、続かなければ、友達と一緒に、励まし合いながら練習すればいいのです。こうやって友達と「つながる」、そして、練習の仕方を「学び合う」のです。

記録を見ると、令和2年からマラソン記録会は行われていません。開催できなかった理由は、新型コロナウイルス感染症の影響です。また、10月に運動会を行っていたことも理由の一つです。そのため、在校生は誰もマラソン記録会を経験していないので、今回は走る距離を短くしました。低学年は400mか600mから選択、中学年は750mか900mから選択、高学年は900mか1100mから選択することになっています。

子どもたちの反応は今ひとつのようです。つらいことに挑戦するのですから当然です。でも、私は以前から子どもたちに「少しつらいけど、思い通りにならない経験をたくさんしよう」と話しています。それが、大人になった時に自分を守る、成長させることにつながるからです。今後、どんな様子が見られるか楽しみです。記録会当日は、保護者の皆様のご声援をお願いいたします。



保護者

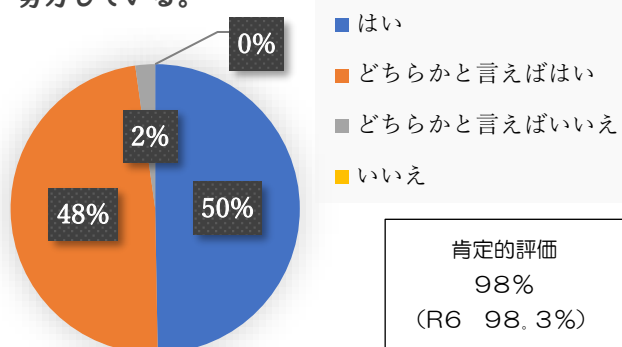
1学期

アンケート

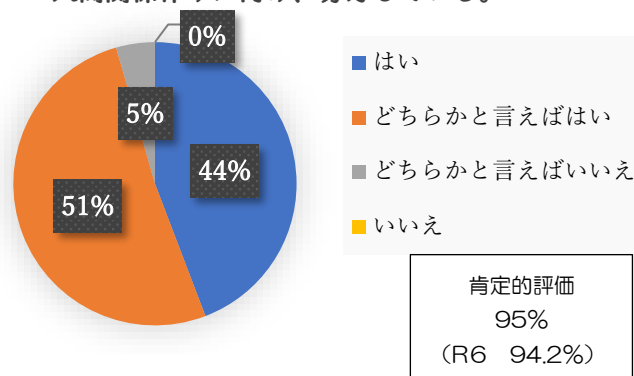
回収率77%
ありがとうございました！

1学期に保護者の皆様にアンケートを実施させていただきました。ご協力に感謝申し上げます。以下に結果を示します。

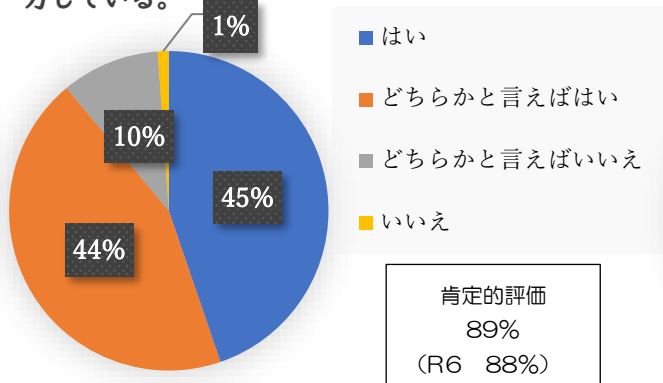
1 学校は、児童の学習内容の理解に向け、
努力している。



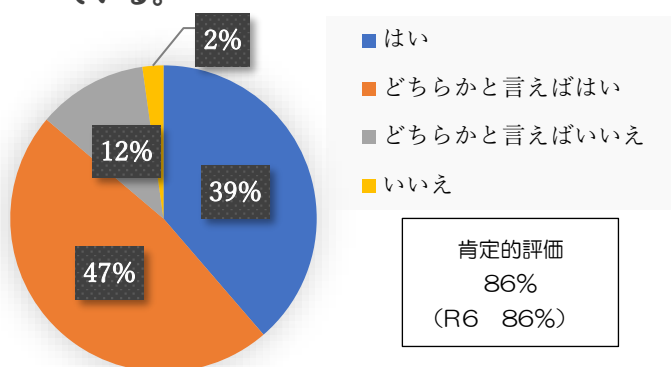
2 学校は、児童の社会性の育成とよりよい
人間関係作りに向け、努力している。



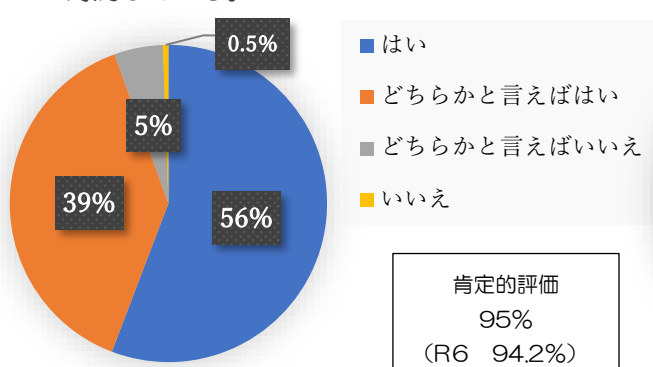
3 学校は、運動に意欲的に取り組み、より
よい生活習慣、食習慣の育成に向け、努
力している。



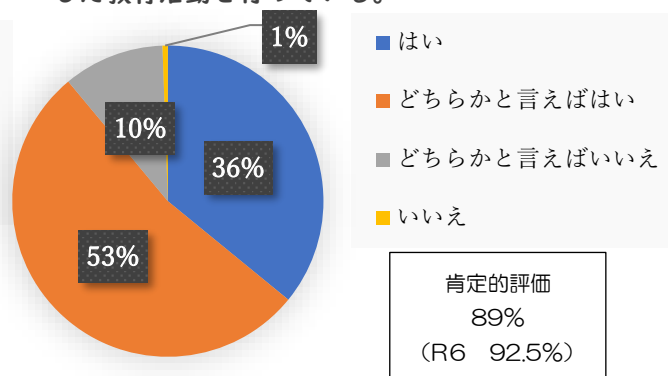
4 学校は、学校生活の様子を知らせ
ている。



5 学校は、保護者の要望や相談等に丁寧に
対応している。

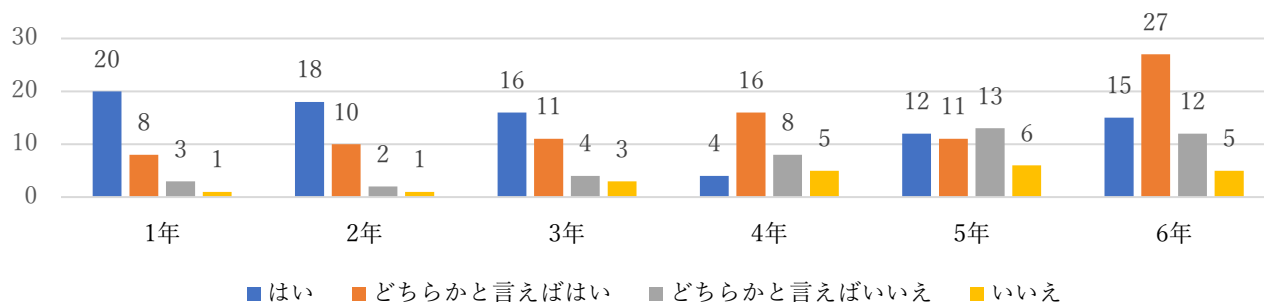


6 学校は、地域（ひと、もの、こと）と連携
した教育活動を行っている。

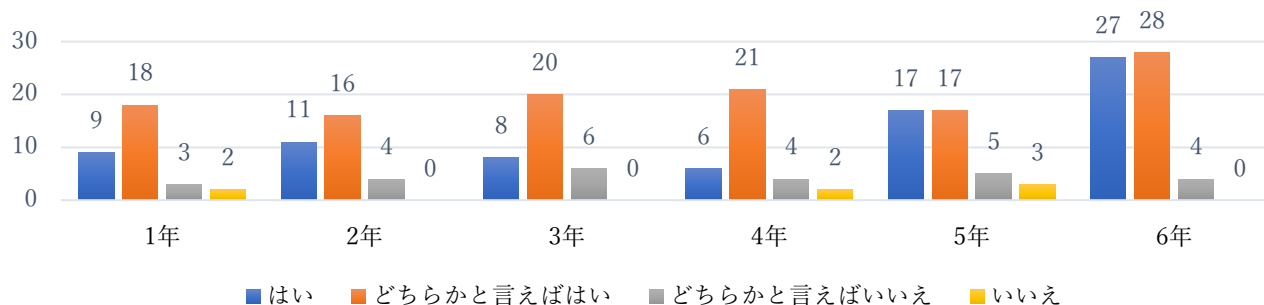


学年別

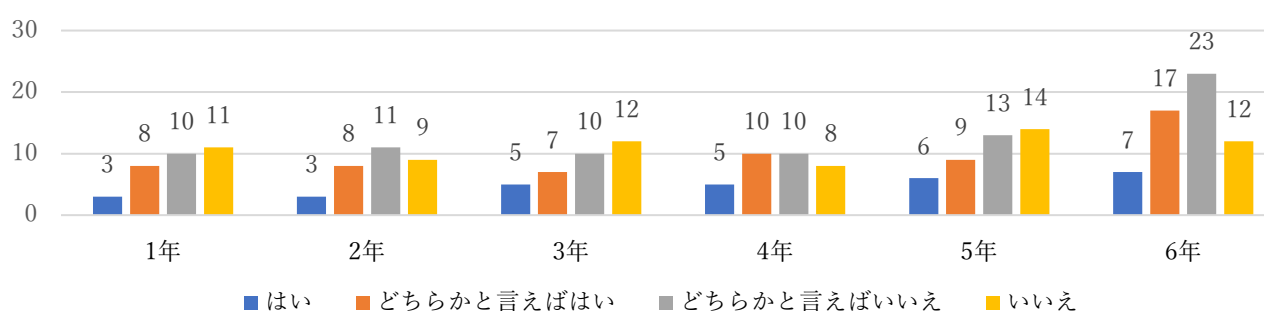
7 子どもは、「学年×10分」以上、家で学習している。



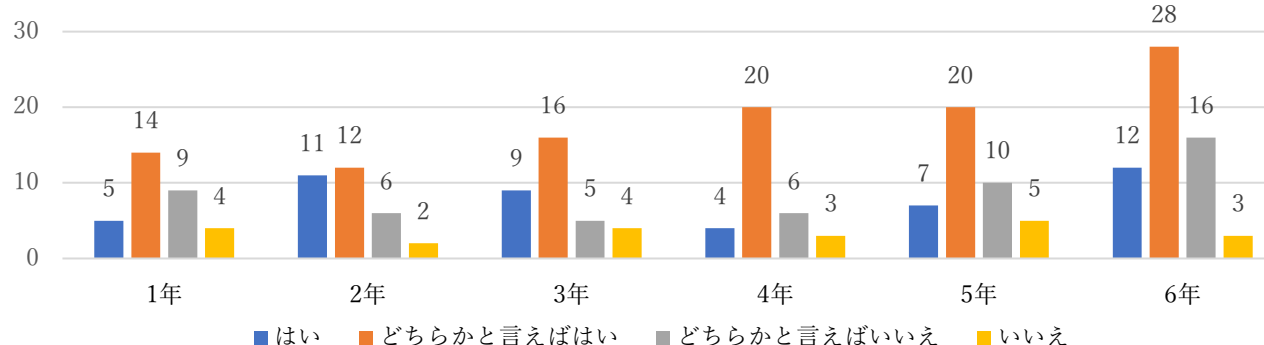
8 子どもは、家庭や地域であいさつをしている。



9 子どもは、寝る1時間前までに、メディアから離れている。



10 子どもは自分で決めた目標の時刻に就寝している。（早寝チャレンジ）



アンケートでは、温かい励ましのお言葉や、学校生活へのご要望を多数寄せていただき、心より感謝申し上げます。

行事に関しては、運動会でのリレーを望む声が寄せられました。運動会においては走力を競う競技のみならず、力や協働性を要する競技も取り入れております。多様な競技を通して、それぞれの子どもが持つ力を発揮できる機会となるよう努めてまいります。また、

今年度は、マラソン記録会を計画しております。子どもたちが自己の記録に挑戦し、達成感を味わうことによって、心身の成長につながることを期待しています。ご家庭におかれましても、温かなご声援をいただければ幸いです。地域交流の場につきましても、学校と地域が一体となって子どもを育む貴重な機会と捉え、引き続き検討を重ねてまいります。今年度は学習支援ボランティア、居場所カフェなどで地域の皆様からご協力をいただいております。

学習面では、自学や家庭学習の進め方、ルールの明確化を求める声がありました。ご家庭でも支えていただけるよう、学年での共通理解や配付物による周知に今後とも取り組んでまいります。また、学級や学年間での取り組みの差についてもご意見をいただきました。子どもたちが不平等感を抱かず、安心して取り組めるよう、今後さらに学年での共通性を高めていきます。

併せて、学年×10分の自主学習や「早寝チャレンジ」、また就寝1時間前までのスマホやタブレット等の使用制限については、全校的に達成率が低く、大きな課題となっています。自分の時間をどのように使うかを計画的に考え、学習習慣や生活習慣を整えることは、今後の学びや心身の健康を支える上で欠かせない力です。特に「寝る前に画面を見ない」習慣は、集中力や心身の安定を支える基盤であり、全校体制で徹底して改善していく必要があります。学校では、自主学習のプランニング等の時間を設け、自分の時間の使い方を身に付けられるよう指導を進めています。ご家庭におかれましてもルールを明確にし、子どもが継続的に学習や生活習慣を整えていけるよう励ましをお願いいたします。

生活環境については、子どもたちが快適かつ安心して過ごせるよう、改善や工夫を重ねてまいります。また、教員の言動に関するご指摘をいただきました。子どもの前でこそ、よりよい人間関係の手本となることを改めて確認し、教職員全体で意識を高めていきます。

皆様のご意見を大切にしながら、今後も職員一同、丁寧な対応に努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

「幼保小架け橋期プログラム」の取組について

新潟県教育委員会は、今年度の学校教育の重点に「幼（幼稚園）保（保育園）小（小学校）の架け橋期プログラムの取組」推進を示しています。保内小学校では「あらかわ保育園」との連携を図り、保育園から小学校へ、園児が円滑に小学校の学びへ移行できるようにするために、どのような学びを進めるかを検討しています。5月には保育園の先生から1年生の授業を参観いただき、8月には小学校職員が保育の様子を参観し、情報交換を行いました。今後も取組を進めてまいります。



気になることがありましたら、すぐに担任にお声掛けください

新学期に入り、お子様の様子はいかがでしょうか。始業式では、校長が、子どもたちに「困ったら、悩んだら、先生、友達、家族に相談してください。」と話しました。お子さんの様子で気になることがありましたら、遠慮なくすぐに担任にお声掛けください。